



## 2023 輝く県民活躍大賞受賞式を開催しました(12月27日)



- ジュニア・ユース部門 (3団体)** 大石町高校生ボランティアサークル 二十四孝(にじゅうしこう)PARTII 大江町ボランティアサークル「夢憧布(ぼけっと)」 防犯・交通米沢少年隊
- 若者部門 (3団体)** おぐに移住者コミュニティつむぐ 山形県立保健医療大学 花笠サークル 花の会 山形大学花笠サークル 四面楚歌
- 一般社会貢献部門 (3団体)** 大石田まつりを10倍楽しくする会 一般社団法人 ドリームやまがた里山プロジェクト 特定非営利活動法人 最上川リバーツーリズムネットワーク



## ～青少年に関する相談窓口のお知らせ～

### 学習、進路、問題行動、しつけ、心身の発達などに関する相談

#### 教育相談ダイヤル

TEL:023-654-8181  
月～金 8:30～20:30  
土日祝 8:30～17:30

#### 24時間子供SOSダイヤル

TEL:023-654-8383  
24時間受付

### 子育ての悩みや家庭教育に関する相談

#### ふれあいほっとライン

TEL:023-630-2876  
FAX:023-630-2874  
月～金 8:30～17:15  
土日祝、時間外はFAXまたは  
留守番電話、メールで対応

#### 親子のための相談LINE

山形県の場合  
平日(祝日・年末年始を除く)  
8:30～17:15



## 山形県青少年育成県民会議の活動についてご理解とご協力をお願いします。

### 青少年のための環境づくり懇談会の開催

11月28日(火)に県庁講堂にて「令和5年度青少年のための環境づくり懇談会」を開催しました。はじめに県の各担当者から、少年補導、いじめの現状などの報告後、各関係業界の健全な環境づくりに向けた自主規制などの申し合わせ事項が承認、決定され、引き続き青少年を取り巻く環境の浄化に取り組むことを相互に確認しました。



### 地域の大人のためのインターネット利用に関する研修会の開催

11月28日(火)に県庁講堂にて「地域の大人のためのインターネット利用に関する研修会」を開催しました。この研修会は、地域で子どもに接し、助言や指導を行う大人がネット社会に生きる子どもたちの現状などを理解し、大人が果たすべき役割を再確認し安全にインターネットを利用できる環境づくりの推進を図ることを目的としています。当日は、県内の青少年育成関係機関の職員など約50名が参加し、県消費生活センターの安達美紀氏より、インターネットトラブルの現状と対策について学びました。



### インターネットの約束ふれあいイベントでの広報啓発活動

2月10日(土)にイオンモール山形南店において、「インターネットの約束ふれあいイベント」がありました。県警本部が主催し、関係機関、団体とともに参加して、インターネットの適切な利用に向けた広報・啓発を行いました。



### いじめ防止スローガン掲載中

県内の各高等学校で生徒会等が中心となり、いじめ・非行の防止、根絶に向けて生徒自らが取り組むテーマを設定した「いじめ防止スローガン」を作成し、校内に掲示するなど、テーマの実現に向けた様々な取り組みを行うこととして、令和5年度に、公立校49校、私立校3校で作成されたいじめ防止スローガンを県民会議HPへ掲載しておりますので、是非ご覧ください。

(<https://yamagata-seishonen.jp/archives/1547>)



## 山形県青少年育成県民会議入会のお願い

当会議では、次世代を担う青少年の健全な育成を図るため、「大人が変われば子どもも変わる」県民運動や「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動を展開しています。活動や趣旨にご賛同・ご協力いただける新規会員の方を募集しております。周りの方にも、ぜひお声がけをお願いいたします。

問合せ 山形県青少年育成県民会議事務局 (多様性・女性若者活躍課内)  
TEL : 023-630-2727  
FAX : 023-632-8238



### ☆会員の種類と会費

- ・特別会員 (1口3万円) ・賛助会員 (1口5千円)
- ・団体会員 (1口1千円) ・個人会員 (1口1千円)

ご意見・ご感想をお寄せください。●山形県しあわせ子育て応援部多様性・女性若者活躍課 ☎023-630-2694 FAX 023-632-8238



# 見守る啓・育む芽 50



- P1 「春のあんしんネット・新学期一斉行動」を実施しています／ネットには危険がいっぱい!!
- P2 県民運動各地区実践レポート
- P3 「大人が変われば子どもも変わる」県民運動／家庭の日／～青少年を取り巻く現状～
- P4 お知らせ

## 2月～5月「春のあんしんネット・新学期一斉行動」を実施しています。

### 春のあんしんネット・新学期一斉行動について

青少年が初めて自分のスマホ等を手にする時期でもある、春の卒業・進学・進級の時期(2月～5月)に特に重点を置き、国や県及び学校などの関係機関が連携、協力して、スマホ等の安心で安全な利用のための働きかけを行っています。

### 「ペアレンタルコントロール」機能を活用しよう!(保護者がネット利用環境を整えること)

- 発達段階に合わせたフィルタリングの利用
- 家庭内のルールづくり など

ご家庭での積極的な取組みと見守りが子どもたちを守ります。保護者が率先して子どもたちと話し合い、フィルタリング設定や家庭内でのルール作りに取り組みましょう。

### 我が家の「ルール」はありますか?

新しく自分のスマホ、自分のゲーム機、自分のタブレットを持つときがルール作りのベストタイミングです。

#### ルールの例

- ゲームをダウンロードするときは、親に確認します。
- 1日の使用時間は0時間になります。
- 寝る前は使用しません。

### POINT 親子双方が自分の意見をしっかり出し合って決めること!

ルールが守れなかったり、子どもの成長や生活習慣の変化したタイミングで、ルールの見直しをすることも大切です。

また、有害なアプリなどの利用やサイトの閲覧を制限できるフィルタリング設定等の機能を活用するのも有効です。



## ネットには危険がいっぱい!! SNSをきっかけに性被害に遭う子どもが多くいます。

SNSに起因して犯罪被害にあった児童は、全国で1,732人(令和4年)。その多くが性被害です。

### 男性も女性も性被害に遭う可能性があります。

子どもに、

- 嘘をついたり、お金や物をあげるなどと言って、体を触る目的で、会おうと言うこと。
- 自分の裸の写真や動画を撮って送るように言うこと。

は、**犯罪**です。



令和5年6月に、性犯罪についての法律が改正されました。(令和5年7月13日施行)



送ってはダメ! 送ったら、その写真は取り戻せないよ

会ってはダメ! 信頼できる大人に相談しよう

### SNSで知り合った人から…

- 服買ってあげる、会おうよ 😊
- かわいい服買ってあげるよ
- ほんとに?嬉しい!!
- 写真撮って送ってよ!!
- どんな写真??
- 服脱いだ写真欲しいな～
- みんなやってるから大丈夫だよ!

### 困った時は迷わず相談してください。

- 性犯罪被害相談(警察) #8103(ハートさん) 24時間受付
- 山形県性犯罪被害相談電話 0120-39-8103
- 性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター #8891(はやくワンストップ) 24時間受付
- 性暴力に関するSNS相談(チャット)「Curetime(キュアタイム)」 毎日17時～21時受付



# 県民運動 各地区実践レポート

県内各地区で率先して県民運動に取り組んでいる青少年専門員の皆さんから、令和5年度の活動状況についてレポートを寄せていただきました。

## 便利なSNSをみんなで賢く有意義に使いこなそう

村山地域



上市市では、平成15年度より「ふれあいトークかみのやま」を継続しており、今年度は「SNSでの被害・非行を考える」をテーマに開催し、中・高校生と地域の関係者が活発に意見を交わしました。参加生徒からはSNSによる誹謗中傷・いじめ・個人情報流出など、つらい経験談が語られ、喫緊の課題である出会い系サイトや闇バイトにも話が及ぶと危機感や恐ろしさを感じ、出席者は自分事としてテーマに向き合うことができました。SNSを賢く使うため各学校において、おたより発行など「トラブルが起きる前の広報啓発を大切にしよう!」と確認し合いました。改めて、子どもたちと大人のコミュニケーションが大切であると感じさせられました。

村山総合支庁子ども家庭支援課  
青少年専門員 黒田 伸幸・佐藤 雄一

## 大人⇄子ども お互いの考えや声を聴く貴重な時間

最上地域



毎年12月に、最上地区青少年育成連絡協議会が主体となって、「最上地区青少年育成懇談会」を開催しています。この懇談会は、各市町村の青少年育成推進員と高校生が、テーマに沿ってお互いの考えを聴くことができる貴重な機会となっています。今年も、管内4高校と4市町の高校生ボランティアサークルの参加がありました。青少年育成推進員の方は、高校生の生の声を聴くことができる貴重な時間と感じており、高校生は大人の考え方や人生談に耳を傾け、これからの人生と重ね合わせて深く考える契機になったようでした。今後は、グループごとに作成した「地域に向けたメッセージ」を情報誌「もがみ」に掲載するだけでなく、幅広くPRしていきたいと思えます。

最上総合支庁子ども家庭支援課  
青少年専門員 武田 久昭

## 下校指導や声掛けを行い、子どもたちを見守っています

庄内地域



庄内地区では毎年、「明るいやまがた。夏の安全県民運動」の時期に合わせて、小学校2校で下校指導を実施しています。「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動で作成した「いじめ防止標語」地区最優秀賞作品入りのポケットティッシュを訪問校全児童・職員に配付するとともに、のぼり旗を持ちながら、下校する子どもたちに、夏の事故防止やいじめ・非行の防止についての呼びかけを行っています。今年度は、地域の青少年育成関係者・交通安全指導関係者・警察職員の方々にもご協力いただき、三川町立東郷小学校と酒田市立松陵小学校で実施しました。夏休み前の子どもたちに地域での青少年健全育成活動や実際に関わってくれる大人たちについて知ってもらえる機会となりました。

庄内総合支庁子ども家庭支援課  
青少年専門員 松田 裕可・齋藤 啓悦

## セキュリティ意識の継続的な向上を

置賜地域



11月26日(日)、川西町農村環境改善センターを会場に、置賜地区の青少年育成推進員の方々が一室に於いて「置賜地区青少年育成推進員研修会」を行いました。県警本部生活安全部サイバー犯罪対策係長須藤克寿氏より、「サイバー犯罪の現状について」と題して講演いただき、一人一人が最新のセキュリティ情報に関心をもち、セキュリティ意識を高く保つことが重要だとお話をいただきました。その後、米沢市コミュニティ活動推進員連絡協議会本田智洋氏から「(新)すっぺの会」の活動について、川西町青少年育成推進員会長金子達氏から「川西町青少年育成推進員会」の活動について、具体的な事例に基づいた実践発表を行っていただきました。

置賜総合支庁子ども家庭支援課  
青少年専門員 加藤 公一・梅津 洋



# 「大人が変われば子どもも変わる」県民運動

展開中

「子どもは社会を映す鏡」 親として、大人として、地域社会の一員として良き手本となるよう、大人自身が社会のモラルやルールを守り、子どもたちを育てる健全な社会環境づくりを推進しよう!!

1

## あいさつ・見守り運動

～子どもを家庭・地域で育てよう!～

オアシス運動(おはよう、ありがとう、しつれいします、すみません)等

2

## モラル・マナーの向上運動

～大人が子どもの手本となろう!～

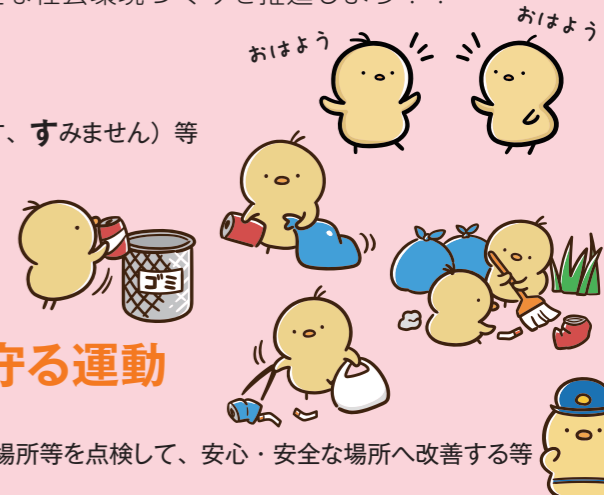
ごみ・空き缶・吸殻を捨てない、拾う、持ち帰る等

3

## 子どもを事故や犯罪等から守る運動

～子どもの安全を地域全体で見守ろう!～

地域の危険箇所の点検や子ども達のたまり場となりうる場所等を点検して、安心・安全な場所へ改善する等  
【緊急避難場所:(こども110番連絡所)の設置】



## 毎月第3日曜日は「家庭の日」

子育てにおいて家庭が果たす役割は大変重要です。そこで、家族のきずなを大切にする日として、毎月第3日曜日を「家庭の日」と定め、併せて月別のテーマを提案しています。

【月別テーマ】

4月	社会のルールやマナーを身につける	10月	家族で健康づくりをはじめめる
5月	家族と一緒に過ごす時間を増やす	11月	働くことの大切さを学ぶ
6月	家族みんなで自然に親しむ	12月	家族みんなで協力して、仕事を分担して助け合う
7月	夏休みの交通事故や水の事故、子どもの非行を防ぐ	1月	新しい年を迎え、一年の計画をたてる
8月	地域の人々とふれあい、交流を深める	2月	寒さに負けない心と体をつくる
9月	お年寄りを敬い、お互いを思いやる	3月	学期の節目を迎え、一年間の子どもの成長を祝う



## ～青少年を取り巻く現状～

### 特殊詐欺犯罪に注意!!(闇バイト等)

SNSやインターネットの掲示板には、短期間で高収入が得られるなどの甘い言葉で、犯罪の実行者を募集する投稿が掲載されています。それは特殊詐欺の受け子や出し子、強盗の実行犯などであり、安易に応募してしまうと、犯罪に加担することになり、逮捕される人が多くいます。一度加担してしまうと、「やめたい」と思っても、応募したときに登録した自分自身や家族等の個人情報を基に脅され、抜け出せなくなります。犯行グループは雇った人間を都合良く利用した後、「捨て駒」として切り捨てます。絶対に手を出さないでください。困ったときは警察相談専用窓口「#9110」へご相談。



### 違法薬物絶対ダメ!!

若年層を中心とした大麻の乱用拡大が問題になっています。インターネット等では、「大麻は身体への悪影響がない」「依存性がない」などの誤った情報が流れていますが、大麻の有害性は特に成長期にある若者の脳に対して影響が大きいことが判明しています。大麻成分入りのキャンディ、クッキー等の食品が流通されていることもあり、興味本位で口にして救急搬送されたケースもあります。間違った情報等に流されて取り返しのつかないことにならないように正しい知識で判断しましょう。もし、誘われたら…「はっきり、きっぱり断る」「話題を変える、その場から離れる」ことです。一人で悩まず、親や警察に相談しましょう。

